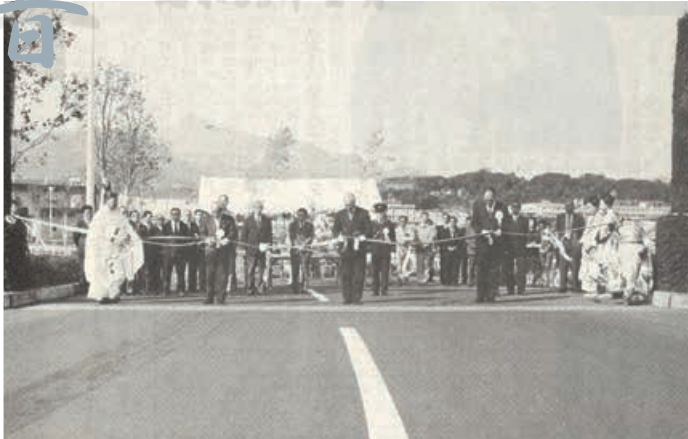




### 田崎大橋の開通

# 昔

昭和53年2月



# 今



田崎大橋は県道68号線上に架かる立体交差道路橋で、共栄町と田崎町をつなぐように、昭和53年に開通しました。開通前は国鉄大隅線の踏切があったため、朝夕のラッシュ時に混雑していましたが、橋の完成により渋滞は解消。田崎大橋は今でも地域の産業・経済を支える幹線道路として大きな役割を果たしています。



昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！

## カノヤタイムトラベル

### 鹿児島湾を結んでいた高速船

いま、県が進めるマリナーポートかごしま（鹿児島市）の整備により、大型クルーズ船等の受け入れが増加しています。そして、その経済効果を大隅半島にも波及させるために、マリナーポートかごしまと鹿児島（古江港）間で臨時の高速船を運航し、クルーズ船の観光客が鹿屋・大隅を周遊できるための取り組みが始まっています。

その鹿屋港からは、かつて定期の高速船が運航していたことがありました。昭和62年に鹿屋―鹿児島（ボサド港）間及び鹿屋―指宿間で運航が始まった「高速船きんこう（きんこう丸）」です。きんこう丸は、それまで鹿児島を起点に、



鹿屋港では、クルーズ船等から高速船で訪れる観光客への盛大なおもてなしが行われている。



鹿屋―鹿児島間、鹿屋―指宿間で運航されていた「高速船きんこう」（写真は鹿屋市史より）

垂水、古江、大根占、指宿、山川を巡航していた180トンの旅客船「あかね丸」が船齢を重ねたこともあり、代わりに導入された高速船でした。

きんこう丸は、全長24.8m、幅5.6mの船で、最大速力30ノット（時速48km）の速さで、鹿屋―鹿児島間を片道40分で1日3往復、鹿屋―指宿間を片道30分で1日2往復していました。

この高速船はその後廃船となりましたが、現在は、根占―指宿間で平成29年に就航した「高速船なんきゅう10号」が、薩摩半島と大隅半島を片道20分で結ぶ高速船として活躍しています。